

地方創生関係交付金 効果検証用資料

当日資料 2

交付金の区分	No	交付対象事業の名称	事業の概要：目的	事業の概要：交付金を充当する経費内容	全体計画		検証年度				実績値が目標値を下回っている場合、その理由		
					始期	終期	交付対象事業費(千円)	交付額(千円)	本交付金事業における重要業績評価指標(KPI)				
									指標	目標値(A)		実績値(B)	達成度(B/A)
推進交付金	1	「若者から選ばれるまちたかまつ」移住・定住促進	県外への大学へ進学した者の約40%が近畿圏へ進学していることや、2018年度の移住者の転入元の約25%が近畿圏であることから、首都圏における移住及び就職支援の拠点として、2018年5月に設置した「瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンター」を近畿圏にも設置し、本市を含む瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内の連携市町や地元企業の魅力、地元企業の求人情報の提供、就職に関するセミナーなどを、より効果的にプロモーション活動を展開し、県外進学者等に対して、連携市町内へのUターン就職や地元企業の魅力や求職情報等を適切に伝え、支援することで、多くの移住者を呼び込む。 また、移住者が本市に定着することができる取組として、「移住・定住相談窓口（仮称）」を設置し、移住者と受け入れ側双方への支援に取り組むとともに、「たかまつ移住応援隊」と連携し、県内の大学や高校等を対象に、本市や地元企業の魅力を伝える取組を実施し、若者の流出を抑制し、地元定住を図る。	1 瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンターUIターン促進事業 2 たかまつ暮らし魅力発信事業 3 たかまつ移住応援隊と連携した市内定住促進事業	R2.4	R5.3	R3年度	12,276	6,137	「瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンター」を利用し移住した世帯数(単位：世帯)	(令和3年度実績値) 21 3 14%	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための移動制限があったこと、また、相談から移住までを中期的なスパンで検討する移住希望者も多いため、新型コロナウイルスの影響により、キャリアサポートセンターへの令和2年度相談件数が、元年度より減少していたことが、令和3年度の目標値を下回った要因になったと考えられるため。	
					「県外から移住した大学新卒世代及び子育て世代の世帯数(単位：世帯)」	(令和3年度実績値) 92 196 213%							
	2	「高松盆栽の郷」構想を中心とした盆栽と花き文化の振興対策	「高松盆栽の郷」基本構想に基づき、盆栽文化を国内外に普及・定着させ盆栽の振興を図るため、①国内需要の拡大、②輸出の拡大、③産地基盤の強化に加え、④「高松盆栽の郷」づくりによる地域のブランド化の確立に向けた総合的な支援を実施する。具体的には、地域が有する地域資源を活用し、産地を訪れる愛好者や観光客に盆栽の文化や歴史、魅力を伝えるため、盆栽園を巡るコースの散策や体験、研修などの取組を行うとともに、ピジターセンターの機能を有する拠点施設の整備を行う。基本構想の実現を図るため、また、将来的な自立運営を見据え、生産者との連携により、人格を持った法人を設立し、運営体制を整備するとともに、産地をコーディネートできる人材を育成する。	1 盆栽産地基盤強化対策事業 ・輸出拡大への取組 ・国内需要拡大への取組 ・産地の生産基盤強化のための支援 ・「高松盆栽の郷」整備に向けた取組 2 第4回全国高校生花いけバトル栗林公園杯2020開催事業	H29.5	R4.3	R3年度	17,823	8,911	盆栽輸出本数(単位：年間本)	(令和3年度実績値) 8,800 4,076 46%	オンライン商談会の開催により、一定数、輸出できたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外バイヤーの来日ができず商談が低調となったこと及び国際的な物流の混乱で輸送用コンテナの調達が困難であったため。	
										盆栽を生産する認定農業者数(単位：人)	(平成28～令和3年度累積値) 4 5 125%		
										盆栽販売額(単位：千円)	(令和3年度実績値) 201,480 195,503 97%		「高松盆栽の郷」におけるオンラインショップの開設や、「盆栽学校」などのワークショップの積極的な実施などの国内需要の拡大に向けた取組を実施するとともに、コロナ禍においても、輸出にも可能な限り取り組んだ結果、わずかながら目標の達成にはいたらなかったもの。
拠点整備交付金	1	スポーツを資源とした地域活性化のための屋島レクザムフィールド機能強化事業	パラ大会を含む四国大会規模以上の陸上競技大会の開催を契機として、スポーツを資源としたまちづくりに取り組むため、クレー（土）舗装の補助競技場6コース及び室内競技場建物裏のアスファルト上に助走路2コースの全天候型舗装工事を行い、ウォーミングアップ場の環境整備を行う。	補助競技場（全6レーン）及び室内競技場建物裏助走路（2レーン）の全天候型舗装工事及び工事に伴う撤去工、処分費	R2.4	R3.3	R3年度	127,582	63,790	年間施設利用者数(人)	(令和3年度実績値) 117,015 99,225 85%	4月に開催した「ジャパンパラ陸上競技大会」は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、予定していた交流事業や関連イベント等が中止となり、無観客での開催となった。 また、都道府県等の要請により、中高生の部活動や大会、合宿参加についても制限がかかったほか、12月から3月までの間、第2種陸上競技場の公認検定に伴い、屋島レクザムフィールドを休館したため。	

【1】「若者から選ばれるまちたかまつ」移住・定住促進事業

事業名	概要	実績
たかまつ移住応援隊	移住経験者である3人の「リーダー」を中心に、市民や企業、団体が「サポーター」として参画し、SNSを利用した移住希望者への情報発信や、移住希望者との交流会等へ参加し、先輩移住者として、体験談の紹介や、参加者の相談に対応している。	34人、58団体登録 (R4.3.31時点)
移住希望者交流会 (瀬戸・たかまつ移住応援プロジェクト)	本市に関する各種情報を得られる機会や、具体的な相談に対応する機会を提供し、移住に関する不安を緩和することで、本市への移住を促進する。 令和3年度においては、Web会議システムを用いて、首都圏だけでなく全国の移住希望者を対象として交流会を実施した。	R3.10.31開催 参加者：21人
瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンター	首都圏における本市への移住や就職に関する相談窓口として、移住アドバイザーによる就職相談や市内求人情報の提供等を行うほか、首都圏の大学への訪問を行うなど、移住やUターン就職を促進している。 令和3年度においては、関西圏における広報を強化するなど、東京圏以外からの相談者の増加を図った。	令和3年度 相談件数：368件
オンライン移住相談事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、移住体験ツアーを始め、各種移住イベントの開催を注視する一方で、テレワークが一般家庭にも普及する中、移住希望者が自宅に居ながら、気軽に移住相談ができるよう、Web会議システムを活用したオンライン移住相談を実施した。	令和3年度 開催日数：6日 ※隔月 相談件数：9件

・【1】「若者から選ばれるまちたかまつ」移住・定住促進事業

事業名	概要	実績
移住体験ツアー	令和3年度においては、2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見送った。	実施見送り
市内移住者交流会	自立的な移住者ネットワークの形成を目的として、移住者同士が気軽に情報交換ができる「市内移住者交流会」を実施している。令和3年度においては、大正時代の古民家を会場として開催し、近隣の果樹園における収穫体験などを行った。	R3.11.14開催 参加者：14組21人

【1】「若者から選ばれるまちたかまつ」移住・定住促進事業 【具体的な移住・定住促進事業】

「たかまつ移住応援隊」を軸にして、
様々な取組を連携させながら、移住・定住を促進しています。

移住ポータルサイトなどの
情報発信



たかまつ移住応援隊



全国の移住希望者との交流
(オンライン)



相談体制の充実



移住者同士の交流



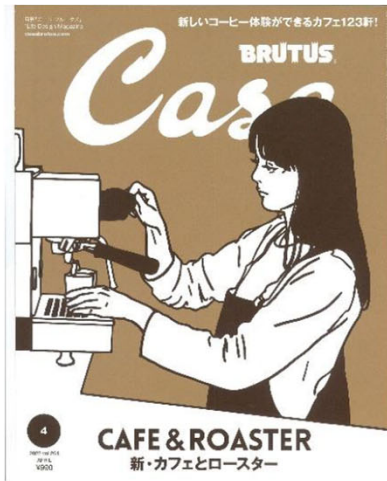
【2】「高松盆栽の郷」構想を中心とした盆栽と花き文化の振興対策

令和3年度実施事業

事業名	概要
1 高松盆栽広報及び誘客促進事業	「高松盆栽」の魅力について、全国的に高い影響力を持つメディア（Casa BRUTUS）で情報発信することによる、鬼無・国分寺地区への誘客促進
2 盆栽産地担い手・確保育成事業	「大観展」「国風盆栽展」「雅風展」において研修施設である「（株）盆栽の匠」の周知・研修生の募集を実施
3 「高松盆栽の郷」魅力発信	拠点施設である「高松盆栽の郷」の魅力を国内外に発信するため、「高松盆栽の郷」フェスタ2021」及び「高松盆栽学校」を開催
4 盆栽輸出促進事業	輸出用盆栽等に必要な施設及び育苗・養成に必要な施設の整備

【2】「高松盆栽の郷」構想を中心とした盆栽と花き文化の振興対策

1 高松盆栽広報及び誘客促進事業



1 松本浩太さんの創作盆栽、宇田敏典さんの陶器などTAKUMIKUMOのインフォメーションを掲載。もちろん、地元の人や観光客が作る盆栽も、2 敷地内に設けられた盆栽教室、即席盆栽、盆栽作り体験が盛りだくさん。3 モダンな空間で、盆栽や花きに関するイベントが盛りだくさん。4 ワークショップでは、盆栽がコップを丁寧に飾ってくれる。



街の喧嘩に出会える、座敷ならではの展示場も。

高松盆栽の郷

高松、国分寺エリアの東海道の歴史的な街並みから約13,000㎡もの敷地が確保され、盆栽の展示場、2024年4月にオープン。ここではもちろん、盆栽作り体験も盛りだくさん。●費用無料 ●高松市国分寺（〒437-0196） ●0570-551-1190、1191。

「高松盆栽の郷」は、高松市国分寺エリアに所在する、高松市が主催する「高松盆栽の郷」構想を中心とした、盆栽と花き文化の振興を目的とした施設。高松市が主催する「高松盆栽の郷」構想は、高松市が主催する「高松盆栽の郷」構想を中心とした、盆栽と花き文化の振興を目的とした施設。高松市が主催する「高松盆栽の郷」構想は、高松市が主催する「高松盆栽の郷」構想を中心とした、盆栽と花き文化の振興を目的とした施設。



TAKUMIKUMO VILLAGE

高松盆栽の魅力、次代へと受け継ぐ場。

人気の高松盆栽を見せる盆栽に興味が持たれる。足を運んでみるのは、江戸時代から続く歴史ある産地。今年5月目撃が開催される瀬戸内国際芸術祭と共に盛りだくさん。

photo: Satoshi Nagano
text: Mako Yamato

【2】「高松盆栽の郷」構想を中心とした盆栽と花き文化の振興対策

2 盆栽産地担い手・確保育成事業

国風展



大観展



雅風展



近代盆栽掲載



【2】「高松盆栽の郷」構想を中心とした盆栽と花き文化の振興対策

3 「高松盆栽の郷」魅力発信

「高松盆栽の郷」フェスタ2021

高松盆栽の郷 フェスタ2021
takamatsu-bonsai-no-sato festa

10/23日・24日 9:00~16:00
場所 高松盆栽の郷

盆栽ワークショップ
内容 黒松の育て方(お手入れ) 講師 花澤明幸 岡土花澤登人
日時 10/23日・24日 ①10:00~②11:30~ ③13:30~ ④15:00~ のみ受付
場所 高松盆栽の郷「研修室」 料金 1,000円

高松盆栽の郷「研修室」 受付時間 9:00~16:00
TEL.087-861-8331 Fax.087-832-2512

お問い合わせ | 高松盆栽の郷 | 香川県高松市白旗分町4番304-1 | TEL.087-874-2706

高松盆栽の郷フェスタ2021サイト
ECサイトが新しくなりました
https://takamatsu-bonsai.jp

高松盆栽学校

いよいよ、中級コーススタート!! 初級コースを終えた方々、盆栽技術のレベルアップに。

高松盆栽学校 受講生募集中!

毎回 実習あり!! 6ヵ月間

開催時間
初級コース 4月~8月 月1回 月曜
中級コース 10月~3月 月1回 月曜20:00

高松盆栽の郷「研修室」
花澤 英人 (指導員 講師) 橋本 浩介 (指導員 講師)
受講料 6,050円×6回=36,300円 (お申し込み費別)
定員 高校生以上 先着20名

1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生
開校 4/24 (木)	5/15 (金)	6/5 (金)	7/3 (木)	8/7 (木)	9/4 (木)
開校 13:30	13:30	13:30	13:30	13:30	13:30
講師 橋本	橋本	花澤	花澤	花澤	花澤

コースメニュー (10月~12月) ① 盆栽の基礎知識 ② 黒松の育て方 ③ 黒松の剪定 ④ 黒松の盆栽作り ⑤ 黒松の盆栽展示

見学ご希望の場合は、事務局にご連絡ください。
高松盆栽学校事務局 TEL.087-811-2031 メール takamatsubonsai@nexus-web.info

誰でも始められる、盆栽を本業から争べる6ヵ月間の特別授業

高松盆栽学校 受講生募集中!

初心者 歓迎!

開催時間
初級コース 4月~8月 月1回 月曜
中級コース 10月~3月 月1回 月曜

高松盆栽の郷「研修室」
花澤 英人 (指導員 講師) 橋本 浩介 (指導員 講師)
月日 特約 (13:30~16:00 月曜)
受講料 3,960円×6回=23,760円 (お申し込み費別)
定員 高校生以上 先着 20名

1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生
開校 4/25 (金)	5/16 (日)	6/13 (日)	7/11 (日)	8/8 (日)	9/5 (日)
開校 10:00	10:00	10:00	10:00	10:00	10:00
講師 橋本	岡田	橋本	岡田	花澤	花澤

コースメニュー (10月~12月) ① 盆栽の基礎知識 ② 黒松の育て方 ③ 黒松の剪定 ④ 黒松の盆栽作り ⑤ 黒松の盆栽展示

見学ご希望の場合は、事務局にご連絡ください。
高松盆栽学校事務局 TEL.087-861-8331 メール takamatsubonsai@nexus-web.info



【2】「高松盆栽の郷」構想を中心とした盆栽と花き文化の振興対策

4 盆栽輸出促進事業

排水施設整備

素掘り側溝 ネットンパイプ設置 砂利じまい (圃場中央)



U字溝 (圃場北側)



会所桝 (中央)



会所桝 (西側)



育苗管理用ハウス・育苗棚・灌水設備整備

パイプハウス



灌水設備



育苗棚

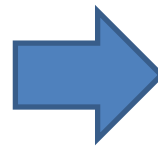


【3】 スポーツを資源とした地域活性化のための 屋島レクザムフィールド機能強化事業

事業概要

パラ大会を含む四国大会規模以上の陸上競技大会の開催を契機として、スポーツを資源としたまちづくりに取り組むため、クレー（土）舗装の補助競技場 6 コース及び室内競技場建物裏のアスファルト上に、助走路 2 コースの全天候型舗装工事を実施した。

実施前



実施後



【3】 スポーツを資源とした地域活性化のための 屋島レクザムフィールド機能強化事業

競技場平面図

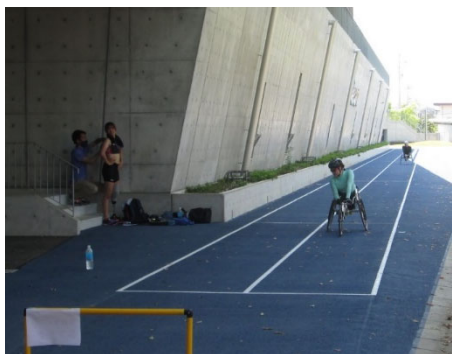


【3】 スポーツを資源とした地域活性化のための 屋島レクザムフィールド機能強化事業

【2021ジャパンパラ陸上競技大会】

令和3年度事業実施状況

- 日時 令和3年4月24（土）・25日（日）
- 場所 屋島レクザムフィールド



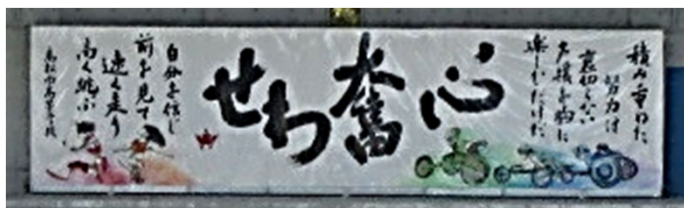
【室内競技場建物裏】



【補助競技場】



【消毒液の配布】



【書道部・美術部による選手応援作品】



【手話による選手応援動画】



【ソーシャルディスタンス】

【3】 スポーツを資源とした地域活性化のための 屋島レクザムフィールド機能強化事業

【予定していた関連イベント等】

イベント名	対応	参加者数・観客数（予定）	参加者数・観客数（実績）
パラリンピアンとの交流事業	中止	塩江小学校4・5・6年生（33名） 十河小学校4年生（85名） 屋島東小学校5・6年生（36名）	—
パラスポーツ体験	中止	観客数（800名／日）	—
手話による応援動画	競技場内大型映像装置で放映 配布した丸亀うちわにQRコード貼付	屋島こども園4歳児（30名） 春日保育園（16名）	46名
選手応援作品の制作	バックスタンド展示	高松西高校書道部・美術部 穴吹学園マンガ科・グラフィック科	

【実績値が目標値を下回っている場合、その理由】

4月に開催した「ジャパンパラ陸上競技大会」は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、予定していた交流事業や関連イベント等が中止となり、無観客での開催となった。

また、都道府県等の要請により、中高生の部活動や大会、合宿参加についても制限がかかったほか、12月から3月までの間、第2種陸上競技場の公認検定に伴い、屋島レクザムフィールドを休館したため。

区分	No	懇談会委員の交付対象事業への意見・質問欄			回答	
		名称	担当課	区分		
推進交付金	1	「若者から選ばれるまちたかまつ」移住・定住促進	政策課	有効	<p>県外から移住した大学新卒世代及び子育て世代の世帯数は、大幅に目標を上回っていることから、有効と考えます。他方、当該指標が大幅に伸びている要因について、市としてはどのように分析されていますか。(近畿圏に設置したキャリアサポートセンターからの情報発信が有効に機能しているとの理解でよろしいでしょうか。)</p> <p>二つの指標のうち一つは、新型コロナウイルスの影響を受けた結果、達成に至らなかったものであるが、もう片方の成果指標は達成できていることから、有効であったと考えられる。</p> <p>移住に重点が置かれているようですが、それに加え、高松市内の高校生が高校卒業後、県外の大学に進学、卒業後、県内に帰り、県内に就職する。その実現に向けた具体的な施策についても検討、実施頂きたい。</p>	<p>県外から移住した大学新卒世代及び子育て世代の世帯数について、目標を達成することができましたのは、これまでの移住・定住施策が、一定程度、実を結んできた結果と捉えています。なお、キャリアサポートセンター大阪サテライトにつきましては、昨年7月の開設以降、大阪府内において新型コロナウイルス感染症の感染が拡大したことに加え、ウェブ会議システムの利用が定着し、現在に至るまで来所相談のニーズが非常に低いことから、今後のあり方を改めて検討しているところでございますが、近畿圏における広報を強化したことにより、センターの認知度自体は向上しており、東京のセンターへの相談件数増加につながっております。</p> <p>県外から移住した大学新卒世代及び子育て世代の世帯数について、目標を達成することができましたのは、これまでの移住・定住施策が、一定程度、実を結んできた結果と捉えています。一方「瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンター」を利用し移住した世帯数については、目標達成に至らなかったものの、相談対応件数は前年度比で大きく増加しており、中期的なスパンで移住を検討している層の今後の移住が期待されるところでございます。</p> <p>国全体で人口減少が進行する中、移住促進の地域間競争が激化しておりますが、限られた人口の奪い合いには限界がありますことから、今後におきましては、移住だけでなく定住の促進にも注力することが必要であると認識しており、中でも、本市の将来を支える若者の地元定着は、最も重要な課題の一つであると存じております。</p>
				有効ではない	<p>イベント的事業は持続性がなく、目先の短期的な効用はあっても、長期的に定住を促進するものではないとの考え。高松市に住んで、家庭を持ち、子育てをし、熟年、老後を迎えるモデルを人生設計という見方で示す必要があるのではないのでしょうか？</p>	<p>御指摘のとおり、交流会等の移住促進イベントは単発の実施で終わりがちであることから、イベントへの参加をきっかけに、参加者が本市の関係人口となり、将来的な移住につながるといった、関係性の継続や発展が図られる事業のあり方を検討してまいりたいと存じます。また、近年、テレワークの普及などを背景に、人々の働き方や暮らし方が多様化していることから、移住後の多様なライフスタイルを提案することは、今後重要な課題であると存じております。</p>
				意見・質問	<p>移住のキャリアサポートセンターは、具体的にどのような場所に設置していますか？市役所などですか？実際に移住したいと思う人が目に留まりやすい場所に情報をおいておくのはどうでしょうか。例えば、大手うどんチェーン店や、香川県の工芸品を売っている店など、香川に興味を持った人がついでに移住のことも考えられるような箇所に相談関係のパンフレットなどをおいたりして、きっかけを多く作るのはいかがでしょうか。</p>	<p>「瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンター」は、東京は渋谷駅から徒歩5分程度、大阪は心斎橋駅から徒歩5分程度の場所にある民間ビル内に設置しております。御質問のきっかけ作りは、大変重要であると存じており、今年度、J R 四国グループのうどん店チェーン「めりけんや」と連携し、東京都内の店舗にセンターのパンフレットを設置するなど、新たな取組を開始する予定としております。</p>
					<p>目標値と実績値から達成度は把握できたが、事業を始める前の年の実績値がわからないため、目標値が妥当であったかが把握しづらい。(特に、大学新卒世代や子育て世代の達成度が高い)また、213%と達成度が高いが、どの対策内容が、より効果的だったと考えるか？人材の確保が厳しい現在では、新社会人の就活だけでなく、インターンシップをもっと積極的に紹介した方がよいのでは。</p>	<p>令和元年度の実績値は、67世帯でございました。本市が実施している転入者アンケートの結果によりますと、20歳代及び30歳代の移住者の多くが、移住理由として「就職」「転職」を挙げておりますことから、有効求人倍率の高さなど、本市の就業環境が、若い世代が移住した要因の一つになっているものと考えられます。なお、「瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンター」におきましては、地元企業のインターンシップについても紹介しているほか、インターンシップの準備に関するセミナーを実施しております。</p>

区分	No	懇談会委員の交付対象事業への意見・質問欄			回答		
		名称	担当課	意見・質問			
	2	「高松盆栽の郷」構想を中心とした盆栽と花き文化の振興対策	農林水産課	有効	<p>コロナ等により輸出本数は目標の半分程度だったものの、認定農業者数が倍増しており、盆栽産地の振興としては有効と考えます。交付金事業としては、令和3年度で終了していると思いますが、引き続き、地域のブランド化の確立に向けて、取組を進めていただきたい。</p> <p>香川県のうどん文化に次ぐ、高松市の盆栽文化をもっと全国区にすべきである。観光資源という側面と経済資源という側面の2面が期待できる。</p>	<p>令和3年度で交付金事業は終了しましたが、盆栽生産者、JA及び県と連携して、引き続き、高松盆栽の産地ブランド確立に向けた取組を行ってまいりたいと存じます。</p>	
				有効ではない	－		
				意見・質問	<p>コロナ禍であることは、前年度から予想できていたと思うが、目標値に至らなかったのは、残念だったと思う。</p> <p>達成度が低い指標については、理由がコロナの為となっていますが、今後もグローバル社会の中で、不測の事態が発生することが想定されます。今回のことを教訓として、その様な時にも対応できるよう様々な施策を考えておく必要があるのではないのでしょうか？</p>		<p>昨年度につきましては、ウイズコロナの取組として、県産品振興課が中心となり、オンライン商談会を実施したところでございますが、盆栽輸出本数の達成度が低かった理由として、コロナの影響だけではなく、輸送費の高騰もあり、目標の達成には至らなかったものと考えております。</p>
					<p>新型コロナウイルスの影響が続く中、なかなか輸出関連は厳しいため、国内需要拡大の方向に取り組みを重視すべきだったが、元々の愛好者に対する取り組みが多く、新規の方に広めるイベントがもう少し有っても良かったのではないかと。特に夏休みは、自由研究を目的として、講座を申し込むご家庭が多いため、小学生やファミリー層向けのイベントを増加させても良かったのではないかと。</p>		
拠点整備交付金	3	スポーツを資源とした地域活性化のための屋島レクザムフィールド機能強化事業	スポーツ振興課	有効	<p>コロナで大規模大会の関連イベントの中止等があったものの、目標比85%の施設利用者があり、当初予定の競技場整備、第2種陸上競技場公認検定（継続）を受けていることから、有効と考えます。</p> <p>有効と思われるが、スポーツレクリエーション施設を集約的にする必要があります。モデルとしては松山市の中央公園（坊っちゃんスタジアム、マドンナスタジアム、サッカー場、武道館、プール、テニスコート、などがモール化されており、スポレク拠点となりやすいと考えます。</p> <p>新型コロナウイルスの影響が強かったため、年間施設利用者数が目標値を達成しなかったのは仕方がないのでは。また、MICE誘致等の将来を見越し、環境整備を行ったことは妥当である。</p> <p>コロナの影響はあったものの、達成度が85%と一定の実績はあったため、有効であったと考えられる。</p>	<p>今後も取組を継続してまいりたいと存じます。</p> <p>スポーツ・レクリエーション施設の集約化につきましては、高松市公共施設再編整備計画を踏まえ、検討してまいりたいと存じます。</p> <p>今後も取組を継続してまいりたいと存じます。</p> <p>今後も取組を継続してまいりたいと存じます。</p>	
				有効ではない	－		
				質問	<p>コロナ禍で思うように競技場を使える機会が制限されていたとは思いますが、今後落ち着いたときには、利用者も増えると思う。舗装工事がされたことを知らない人もまだ多いと思うので、告知などしていけばいいのかなと思う。</p>	<p>令和4年7月1日から屋島競技場のホームページをリニューアルし、補助競技場についても舗装されていることが分かる写真付きで掲載しております。今後も、指定管理者と連携し、利用者増の取組を継続してまいりたいと存じます。</p>	